

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2014年第42週
(10月13日～10月19日)

- * 2014年10月22日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は感染症豆知識「コクシジオイデス症」も掲載しています。

平成26(2014)年10月23日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2014年42週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		39週	40週	41週	42週	年累計	42週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二类	急性灰白髄炎							
	結核	65	79	79	48	3,205	309	20,810
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 ^{*1}							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
指定	中東呼吸器症候群 ^{*2}							
	鳥インフルエンザ(H7N9) ^{*3}							
三类	コレラ					3		4
	細菌性赤痢		2			30	6	105
	腸管出血性大腸菌感染症	12	5	2	5	326	51	3,641
	腸チフス	2	2	1		25	5	48
	パラチフス					7		15
四类	E型肝炎	1		1		22		113
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1	1			31		410
	エキノコックス症							15
	黄熱							
	オウム病	1				3		8
	オムスク出血熱							
	回帰熱							1
	キャサナル森林病							
	Q熱							1
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							1
	サル痘							
	重症熱性血小板減少症候群 ^{*4}							56
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱					2		10
	つつが虫病		1			6	2	119
デング熱	10	7	3	1	157	3	315	
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								
ニパウイルス感染症								
日本紅斑熱						7	197	
日本脳炎							2	

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		39週	40週	41週	42週	年累計	42週	年累計
四 類	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症					4		10
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							1
	マラリア	1				24	1	53
	野兔病							1
	ライム病					1		11
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							
	レジオネラ症	5	2		5	88	25	985
	レプトスピラ症			1		3		34
ロッキー山紅斑熱								
2014/10/22集計								

*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。2014年7月26日より新たに追加指定された。

*3 2013年5月6日より新たに追加指定された。

*4 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。2013年3月4日より新たに追加指定された。

(全数把握対象疾患のコメント・一類～四類)

〈二類感染症〉

結核 48件 肺結核 28件、その他の結核 4件、肺結核及びその他の結核 2件、無症状病原体保有者 13件、疑似症 1件、年齢は5歳未満 2件、20代 9件、30代 4件、40代 7件、50代 5件、60代 5件、70代 8件、80代 6件、90歳以上 2件、推定感染地は国内 47件、ベトナム 1件であった。

〈三類感染症〉

腸管出血性大腸菌感染症 5件 患者 4件、無症状病原体保有者 1件、血清型・毒素型はO128 VT1・VT2 1件、O157 VT1・VT2 2件、O157 VT型不明 1件、血清型VT型不明 1件、年齢は20代 2件、30代 1件、40代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 4件、ペルー又はブラジル 1件、推定感染経路は経口感染 4件(生肉 2件、海外での食事 1件、詳細不明 1件)、不明 1件であった。

〈四類感染症〉

デング熱 1件 患者、病型はデング熱、血清型は不明、年齢は10代、推定感染地は国内であった。

レジオネラ症 5件 病型は肺炎型 4件、ポンティアック熱型 1件、年齢は50代 1件、60代 1件、70代 2件、80代 1件、推定感染地は国内 5件、推定感染経路は水系感染 2件、塵埃感染 2件、不明 1件であった。

全数把握対象疾患 報告数（五類） 2014年42週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		39週	40週	41週	42週	年累計	42週	年累計
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢	4	2	5	7	182	18	897
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	1		2		41	3	196
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 *3		11	3		14	8	77
	急性脳炎 *1	1		1	1	40	4	374
	クリプトスポリジウム症		6			81		85
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1		2		12		140
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1			39	3	217
	後天性免疫不全症候群	12	10	10	9	416	10	1,218
	ジアルジア症	1				13	5	55
	侵襲性インフルエンザ菌感染症 *2					19	4	161
	侵襲性髄膜炎菌感染症 *2		1			6		28
	侵襲性肺炎球菌感染症 *2	2	5	4	4	174	13	1,361
	水痘(入院例に限る) *3	2	2	1		5	4	41
	先天性風しん症候群					3		9
	梅毒	9	8	12	13	405	15	1,308
	播種性クリプトコックス症 *3		1		1	2	2	8
	破傷風					10	5	111
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
バンコマイシン耐性腸球菌感染症					3		39	
風しん	1		1	4	92	4	295	
麻しん			1		88		451	
薬剤耐性アシネトバクター感染症 *3	1				1		4	

2014/10/22集計

*1 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

*2 2013年4月1日より新たに追加指定された。

*3 2014年9月19日より新たに追加指定された。

（全数把握対象疾患のコメント・五類）

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 7件 病型は腸管 6件、腸管及び腸管外 1件、年齢は40代 3件、50代 3件、70代 1件、推定感染地は国内 7件、推定感染経路は同性間性的接触 1件、経口感染 1件、不明 5件であった。

急性脳炎 1件 病原体不明、年齢は80代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

後天性免疫不全症候群 9件 AIDS 2件、無症候キャリア 5件、その他 2件、AIDS患者の年齢は50代 1件、60代 1件、無症候キャリア及びその他の年齢は20代 2件、30代 4件、50代 1件、推定感染地は国内 8件、不明 1件、推定感染経路は同性間性的接触 7件、不明 2件であった。

侵襲性肺炎球菌感染症 4件 血清型は未実施 4件、年齢は30代 1件、40代 1件、60代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は不明 4件、肺炎球菌ワクチン接種歴は接種なし 3件、不明 1件であった。

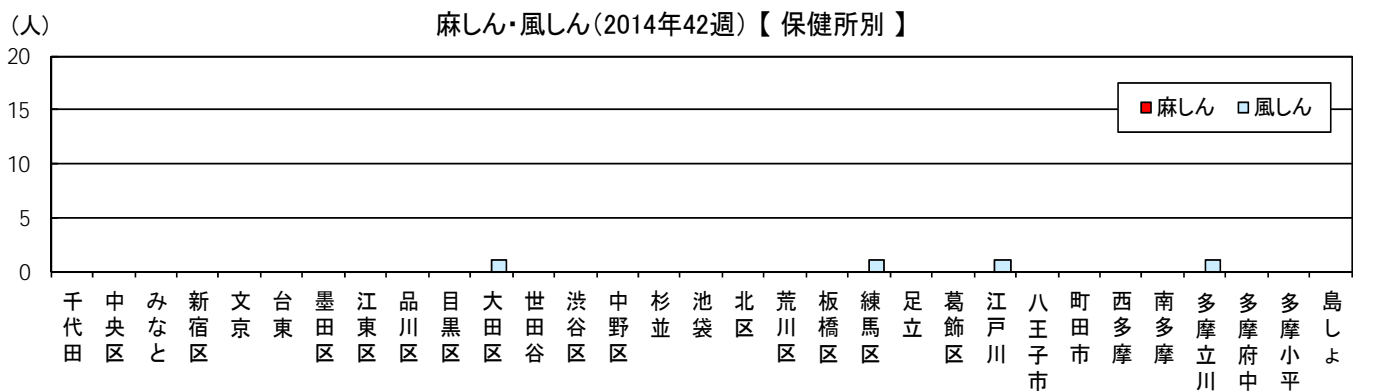
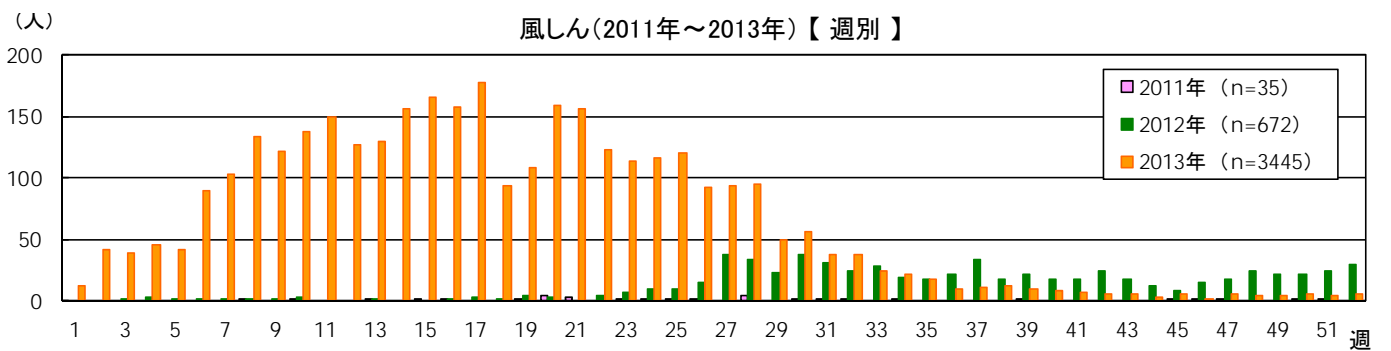
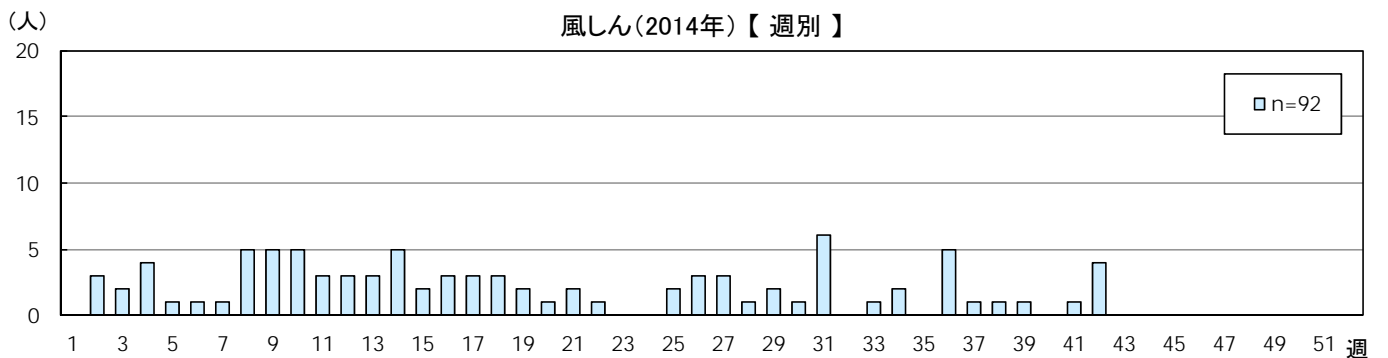
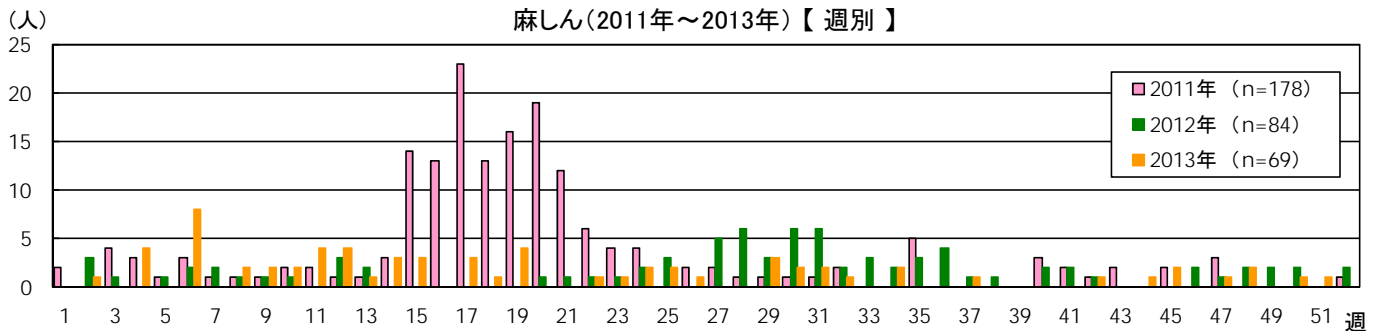
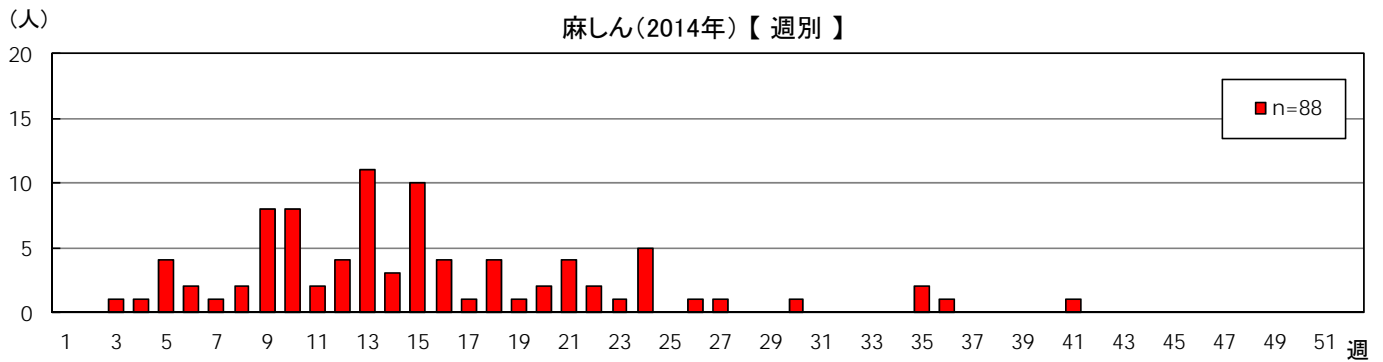
梅毒 13件 早期顕症梅毒Ⅰ期 1件、早期顕症梅毒Ⅱ期 5件、無症候梅毒 7件、年齢は20代 5件、30代 4件、40代 2件、60代 2件、推定感染地は国内 13件、推定感染経路は性的接触 13件(同性間 6件、異性間 6件、性別不明 1件)であった。

播種性クリプトコックス症 1件 患者、年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

風しん 4件 検査診断例 4件、年齢は5歳未満 1件、20代 1件、30代 2件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 2件、不明 2件、風しん含有ワクチン接種歴は1回接種 1件、接種なし 1件、不明 2件であった。

※ 第41週該当分として〔五類〕アメーバ赤痢 1件、ウイルス性肝炎 1件(B型)、急性脳炎 1件、後天性免疫不全症候群 1件(無症候キャリア)、侵襲性肺炎球菌感染症 1件、梅毒 1件、麻しん 1件(遺伝子型B3、推定感染地はソロモン諸島、麻しん含有ワクチン接種歴 1回)の追加報告があった。

全数把握対象疾患(麻しん・風しん)報告数(週別・保健所別)



定点把握対象疾患 報告数 2014年42週

定点種別	対象疾患	2014年					報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		39週	40週	41週	42週	定点当たり		
小児科	RSウイルス感染症	194	210	236	182	0.71	258	264
	咽頭結膜熱	88	53	73	72	0.28		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	338	387	382	369	1.43		
	感染性胃腸炎	840	968	852	842	3.26		
	水痘	128	114	114	119	0.46		
	手足口病	160	194	223	152	0.59		
	伝染性紅斑	82	94	69	66	0.26		
	突発性発しん	157	148	163	159	0.62		
	百日咳	4	4	5				
	ヘルパンギーナ	158	147	97	60	0.23		
	流行性耳下腺炎	73	74	53	41	0.16		
	川崎病 ^{*1}	3	3	5	1	0.00		
	不明発しん症 ^{*1}	23	26	31	20	0.08		
インフルエンザ	インフルエンザ ^{*2}	37	31	26	30	0.07	406	419
眼科	急性出血性結膜炎		1				39	39
	流行性角結膜炎	24	19	11	21	0.54		
基幹	細菌性髄膜炎 ^{*3}			1	2	0.08	25	25
	無菌性髄膜炎	7	2	7	2	0.08		
	マイコプラズマ肺炎	9	7	8	11	0.44		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)							
	感染性胃腸炎(ロタウイルス) ^{*4}		1					
	インフルエンザ入院							
2014/10/22集計								

- *1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。
 *2 鳥インフルエンザを除く。
 *3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。
 *4 病原体がロタウイルスであるものに限る。2013年42週より開始

（今週の注目される定点把握対象疾患）

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び伝染性紅斑の定点当たり報告数は、過去5年平均より高い値で推移しているが、2週連続して減少した。

（定点医療機関からのコメント）

みなと

- ・インフルエンザA型 1名

墨田区

- ・アデノウイルス扁桃炎 1名、マイコプラズマ感染症 1名

江東区

- ・インフルエンザA型1名

世田谷

- ・アデノウイルス感染症 5名
- ・マイコプラズマ感染症 2名
- ・インフルエンザA型 1名

中野区

- ・インフルエンザA型 1名

荒川区

- ・インフルエンザA型 1名
- ・病原性大腸菌 O125 1名
- ・病原性大腸菌 O1、O153 各1名、カンピロバクター 1名

板橋区

- ・カンピロバクター 1名、病原性大腸菌 O112 1名

練馬区

- ・インフルエンザA型 1名
- ・インフルエンザA型 2名

葛飾区

- ・インフルエンザA型 1名
- ・インフルエンザA型 2名

八王子市

- ・アデノウイルス感染症 1名
- ・アデノウイルス咽頭炎 2名

西多摩

- ・インフルエンザA型 3名

南多摩

- ・インフルエンザA型 1名

多摩小平

- ・インフルエンザA型 1名
- ・病原性大腸菌 3名、ノロウイルス腸炎 1名、ヒトメタニューモウイルス感染症 1名

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2014年42週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
～5か月	26			12				2			
6～11か月	33	2	2	60	4	5	1	54		3	
1歳	81	17	7	120	12	37	1	85		15	
2歳	25	12	19	77	12	29	4	12		10	2
3歳	12	8	26	68	21	21	5	2		9	2
4歳	1	11	57	75	19	22	14	2		5	5
5歳	3	10	57	63	16	12	13	2		7	6
6歳		4	41	49	12	5	9			2	4
7歳	1	2	36	40	12	11	8			2	4
8歳		2	35	43	5	3	7			2	4
9歳			20	49	2	1	1			1	6
10～14歳		4	38	90	4	2	2			1	6
15～19歳			10	21		2					1
20～29歳			21	75		2	1			3	1
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	182	72	369	842	119	152	66	159		60	41
先週比	-54	-1	-13	-10	5	-71	-3	-4	-5	-37	-12

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月			1								
6～11か月		4			1						
1歳		8			1			1			
2歳	1	4	3		2						
3歳		2	3					1			
4歳		2	2					1			
5歳			2								
6歳											
7歳					1			1			
8歳			1					1			
9歳			2					1			
10～14歳			2		1			3			
15～19歳			3		1			1			
20～29歳			1		8	1					
30～39歳			7		1			1			
40～49歳			2		2						
50～59歳					2		1				
60～69歳											
70～79歳					1		1				
80歳以上			1			1					
合計	1	20	30		21	2	2	11			
先週比	-4	-11	4		10	1	-5	3			

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2014年42週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田	0.33					1.00					0.33
中央区	1.00		1.00	2.67	1.00	0.67		1.00			
みなと	1.83	0.83	0.83	2.00	0.33	0.50		0.67		0.50	
新宿区	2.25		0.63	1.50	0.25	0.13		0.25		0.38	0.50
文京	1.50		0.50	1.75	0.50	3.00	0.25	1.25			0.25
台東	1.00	0.50	0.50	3.50	0.25		0.25	0.75			0.25
墨田区	0.40		0.60	3.20	0.20	0.60	0.20	0.60		0.20	
江東区	1.22	0.11	2.44	7.78	1.00	0.56	0.33	0.11		0.78	0.11
品川区	0.38		1.25	3.38	0.75	0.13	0.13	0.75			
目黒区	0.20		0.80	3.80	0.20	0.60		0.40			0.20
大田区	1.25	0.67	1.25	4.67	0.25	0.83	0.25	1.08		0.25	0.25
世田谷	0.63	0.81	1.06	3.63	0.88	0.88	0.19	0.69		0.06	
渋谷区				1.75	0.25	0.50	0.25	0.25		1.00	
中野区	0.17		0.50	6.00	0.33	0.50		0.33		0.17	0.17
杉並	0.33	0.22	0.78	3.44		0.22		0.33			0.11
池袋	0.80		0.60	3.20		0.20		0.40		0.40	0.20
北区			1.43	1.57	0.57	0.14	0.43	0.71		0.43	
荒川区	3.00	1.25	1.75	3.50		1.75	0.25	0.25			
板橋区			0.40	1.70	0.40	0.30	0.10	0.60		0.10	0.30
練馬区	0.33	0.08	1.00	2.08	0.67	0.67	1.33	0.75		0.50	0.25
足立	0.23	0.62	1.15	4.69	0.38	0.54	0.31	0.54		0.08	0.46
葛飾区	0.63		0.50	2.13	0.50	2.25	0.25	0.50		0.13	0.25
江戸川	0.33	0.42	0.92	4.75	0.25	0.92	0.25	0.42		0.08	0.08
八王子市	2.18	0.18	2.82	4.64	0.18	0.55	0.82	0.91		0.09	0.27
町田市		0.25	4.63	5.13	0.38	0.38	0.25	0.38		0.50	0.13
西多摩	1.00	0.25	0.75	2.38	0.25	0.63		0.38			0.13
南多摩		0.11	3.56	2.00	0.11	0.11	0.44	1.22		0.44	0.11
多摩立川	0.64	0.07	2.64	2.07	0.36	0.29	0.29	0.29		0.07	0.07
多摩府中	0.32	0.26	1.53	2.95	1.05	0.42		0.84		0.16	0.16
多摩小平	0.93	0.60	2.20	2.47	0.73	0.33	0.20	0.93		0.60	0.07
島しょ											
東京都	0.71	0.28	1.43	3.26	0.46	0.59	0.26	0.62		0.23	0.16

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田		0.67									
中央区											
みなと			0.11								
新宿区					0.50		0.50				
文京					3.00						
台東											
墨田区						2.00					
江東区		0.11	0.07								
品川区					1.00						
目黒区		0.40									
大田区		0.25									
世田谷		0.06	0.04								
渋谷区					4.00			3.00			
中野区			0.10								
杉並	0.11		0.13		2.00						
池袋					1.00			1.00			
北区		0.14									
荒川区			0.14								
板橋区		0.30						1.00			
練馬区			0.41		1.00						
足立			0.05		0.50						
葛飾区			0.46		1.00			2.00			
江戸川											
八王子市					0.50						
町田市											
西多摩		0.13	0.21								
南多摩		0.11	0.07								
多摩立川		0.07									
多摩府中			0.07		0.33		0.33	1.00			
多摩小平		0.27	0.09		1.50			0.50			
島しょ			0.50								
東京都	0.00	0.08	0.07		0.54	0.08	0.08	0.44			

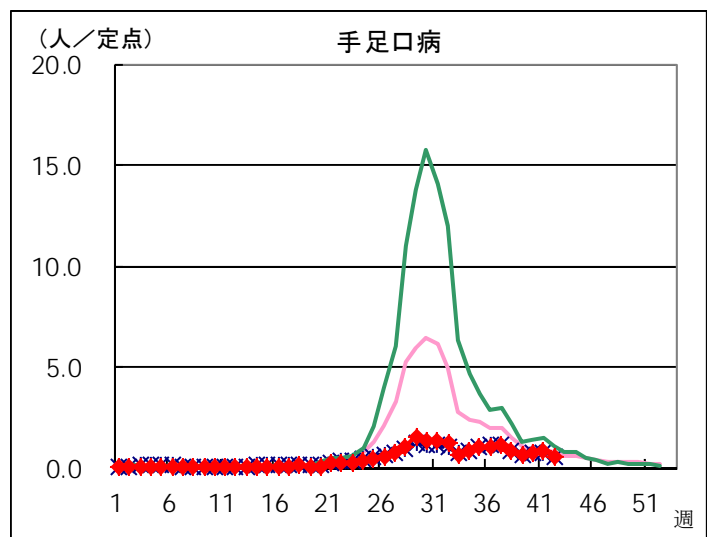
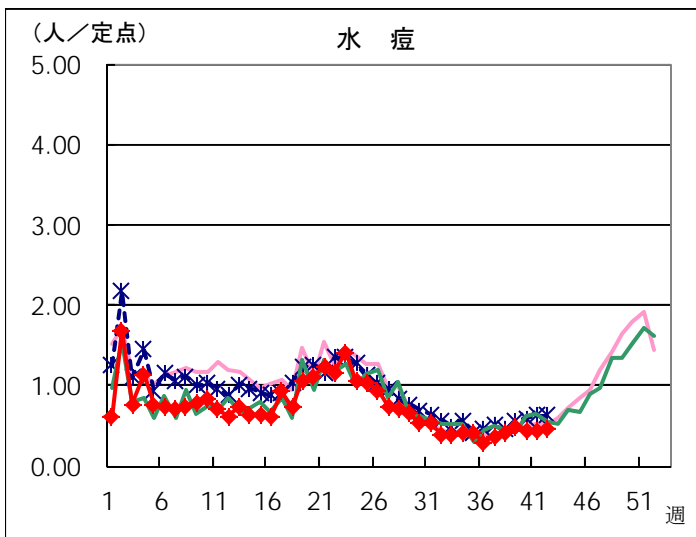
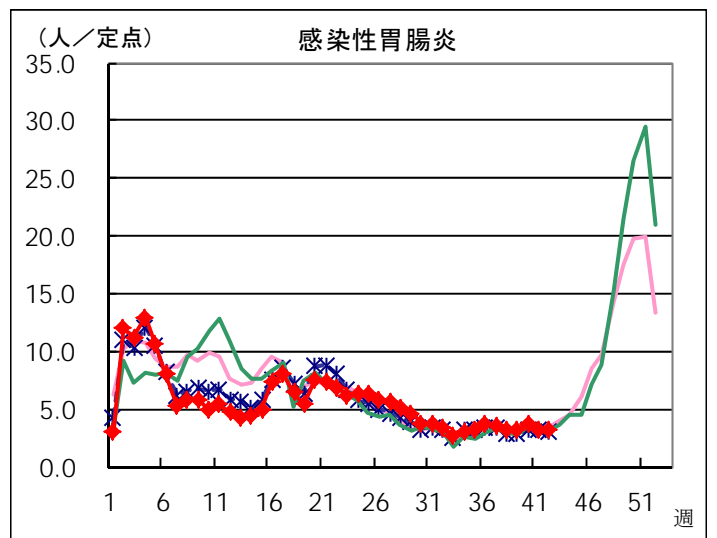
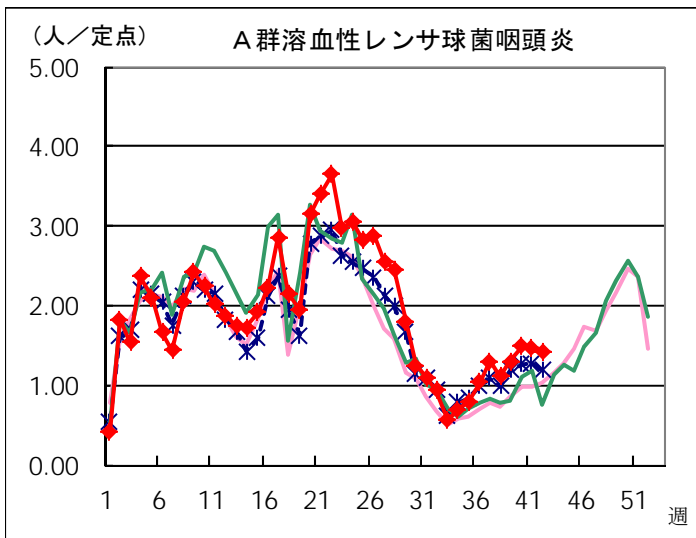
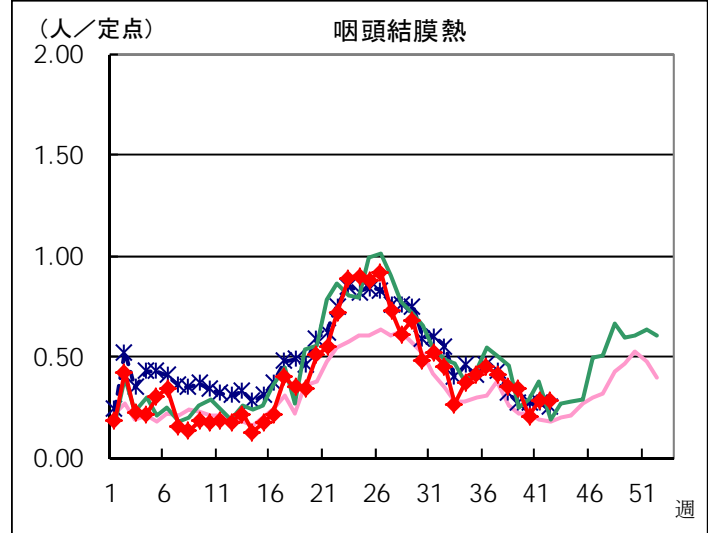
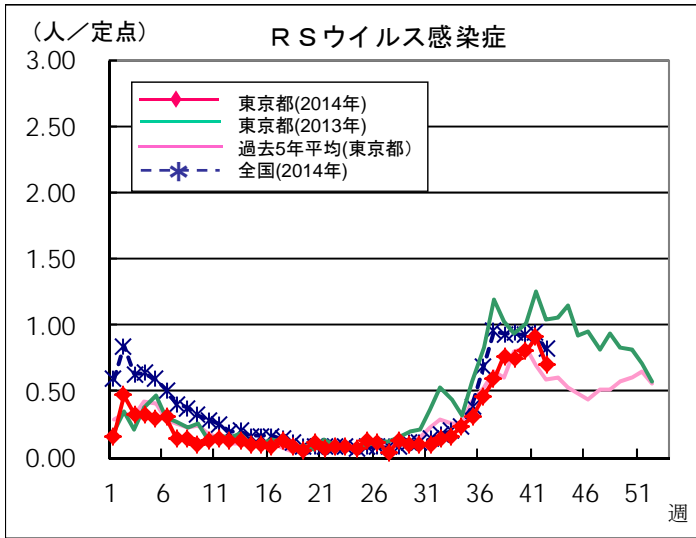
定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2014年42週

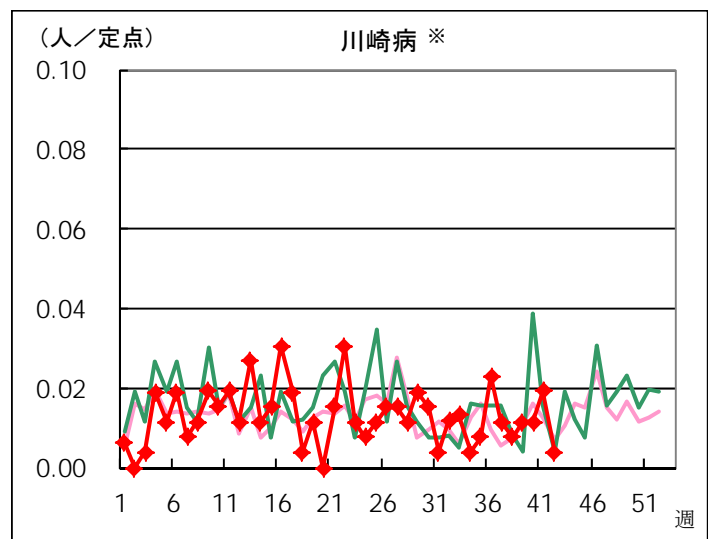
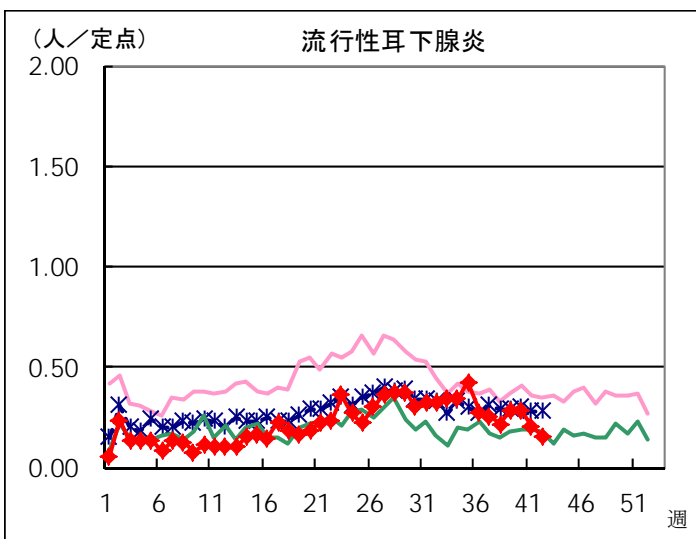
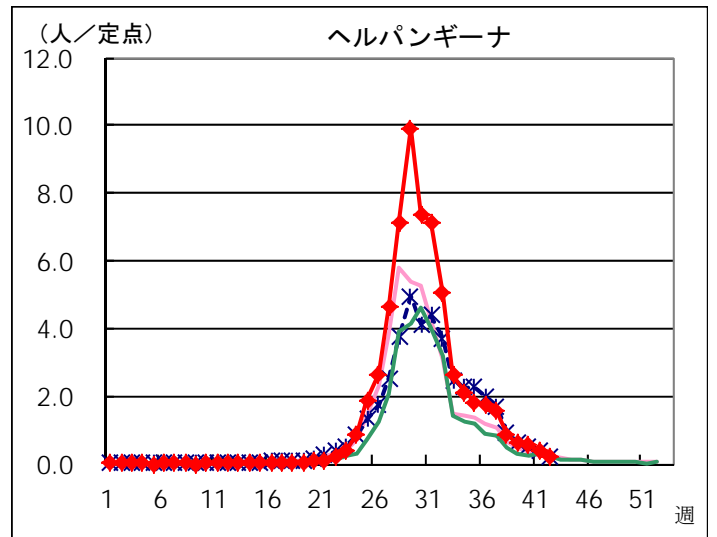
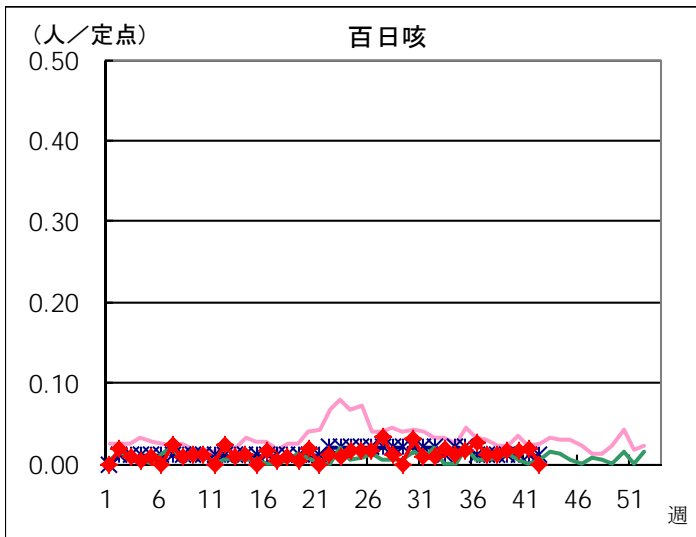
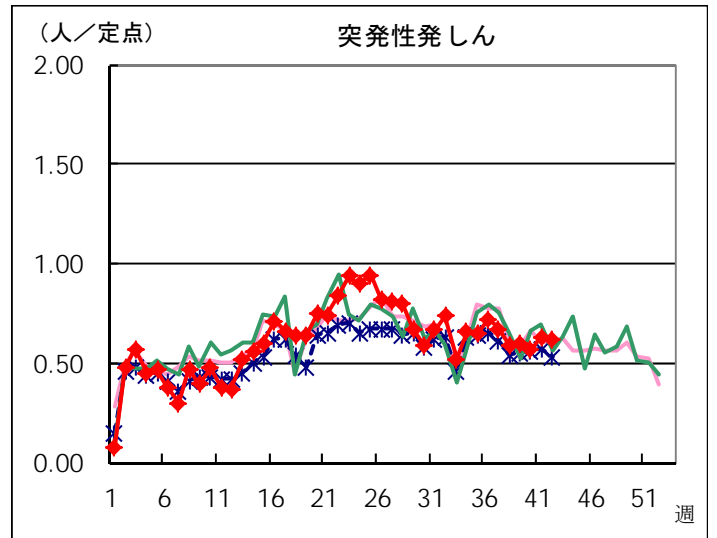
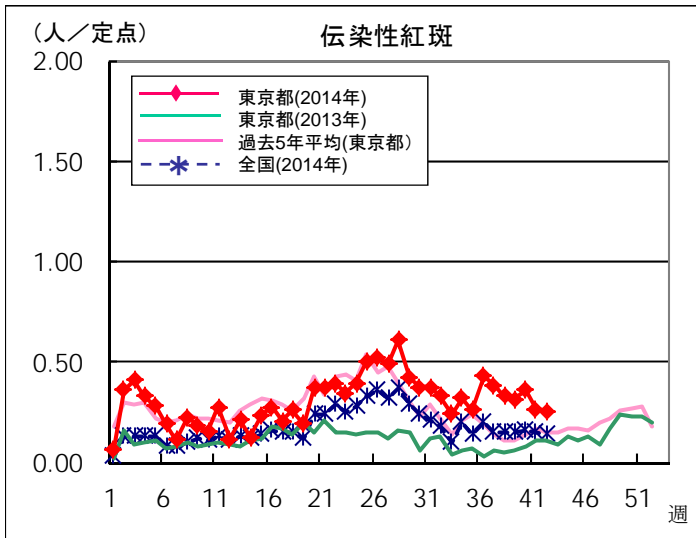
	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田	1					3					1
中央区	3		3	8	3	2		3			
みなと	11	5	5	12	2	3		4		3	
新宿区	18		5	12	2	1		2		3	4
文京	6		2	7	2	12	1	5			1
台東	4	2	2	14	1		1	3			1
墨田区	2		3	16	1	3	1	3		1	
江東区	11	1	22	70	9	5	3	1		7	1
品川区	3		10	27	6	1	1	6			
目黒区	1		4	19	1	3		2			1
大田区	15	8	15	56	3	10	3	13		3	3
世田谷	10	13	17	58	14	14	3	11		1	
渋谷区				7	1	2	1	1		4	
中野区	1		3	36	2	3		2		1	1
杉並	3	2	7	31		2		3			1
池袋	4		3	16		1		2		2	1
北区			10	11	4	1	3	5		3	
荒川区	12	5	7	14		7	1	1			
板橋区			4	17	4	3	1	6		1	3
練馬区	4	1	12	25	8	8	16	9		6	3
足立	3	8	15	61	5	7	4	7		1	6
葛飾区	5		4	17	4	18	2	4		1	2
江戸川	4	5	11	57	3	11	3	5		1	1
八王子市	24	2	31	51	2	6	9	10		1	3
町田市		2	37	41	3	3	2	3		4	1
西多摩	8	2	6	19	2	5		3			1
南多摩		1	32	18	1	1	4	11		4	1
多摩立川	9	1	37	29	5	4	4	4		1	1
多摩府中	6	5	29	56	20	8		16		3	3
多摩小平	14	9	33	37	11	5	3	14		9	1
島しょ											
東京都合計	182	72	369	842	119	152	66	159		60	41

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田		2									
中央区											
みなと			1								
新宿区					1		1				
文京					3						
台東											
墨田区						2					
江東区		1	1								
品川区					1						
目黒区		2									
大田区		3									
世田谷		1	1								
渋谷区					4			3			
中野区			1								
杉並	1		2		2						
池袋					1			1			
北区		1									
荒川区			1								
板橋区		3						1			
練馬区			7		2						
足立			1		1						
葛飾区			6		1			2			
江戸川											
八王子市					1						
町田市											
西多摩		1	3								
南多摩		1	1								
多摩立川		1									
多摩府中			2		1		1	3			
多摩小平		4	2		3			1			
島しょ			1								
東京都合計	1	20	30		21	2	2	11			

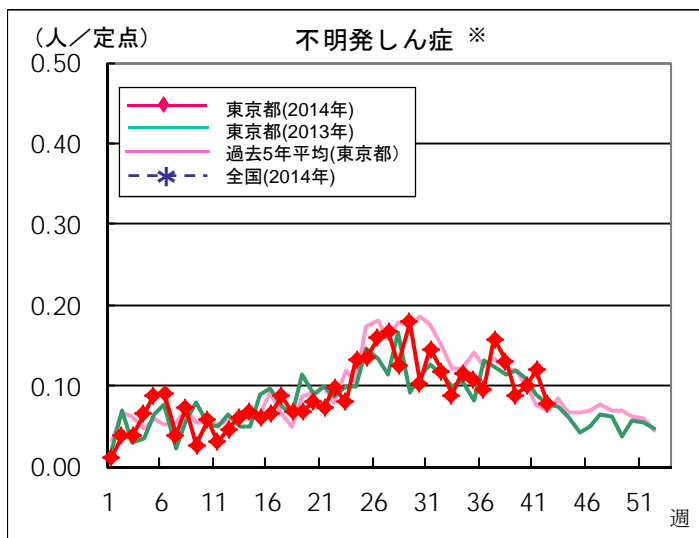
定点把握対象疾患 週別報告数(2014年42週 現在)

◆ 小児科定点



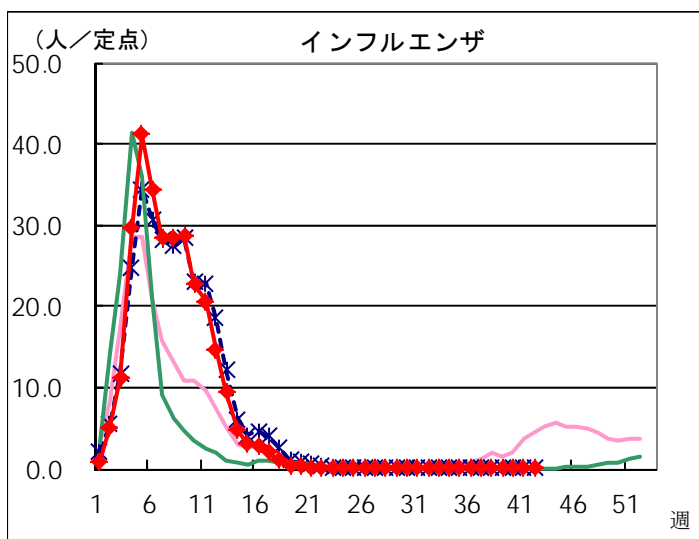


※ 東京都独自対象疾患

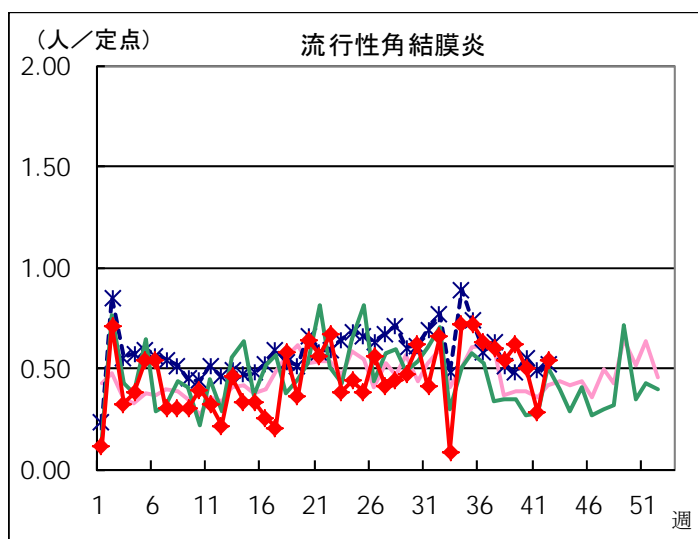
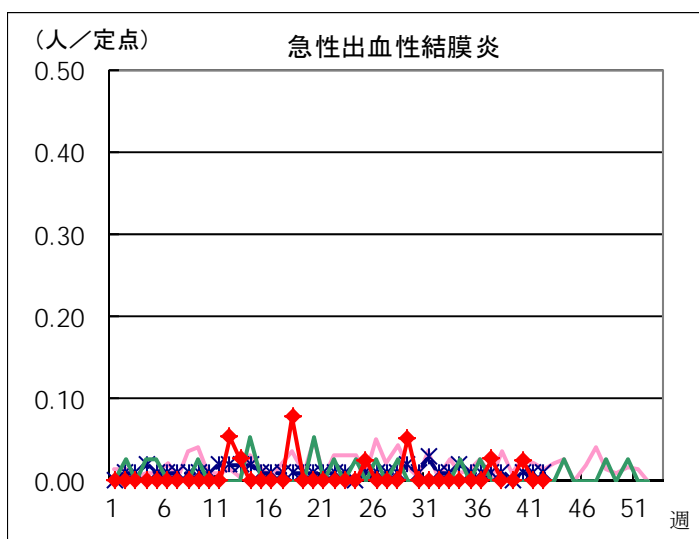


※ 東京都独自対象疾患

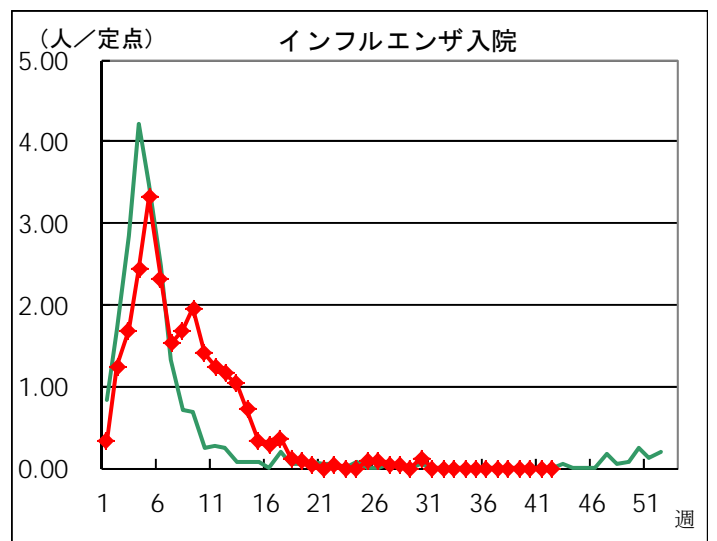
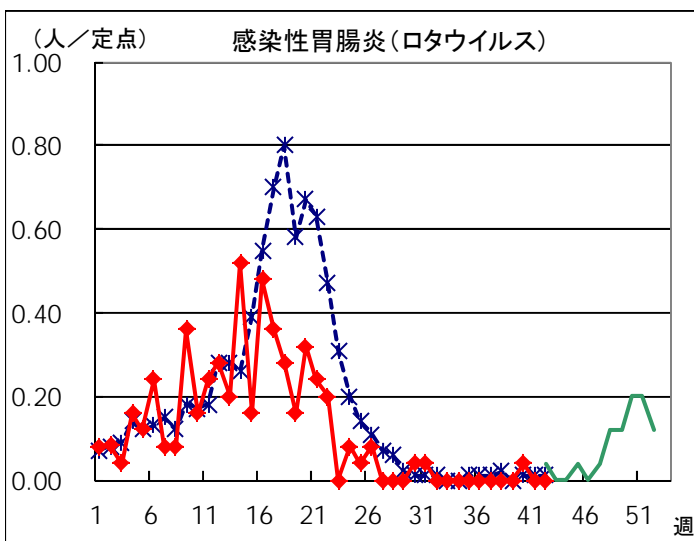
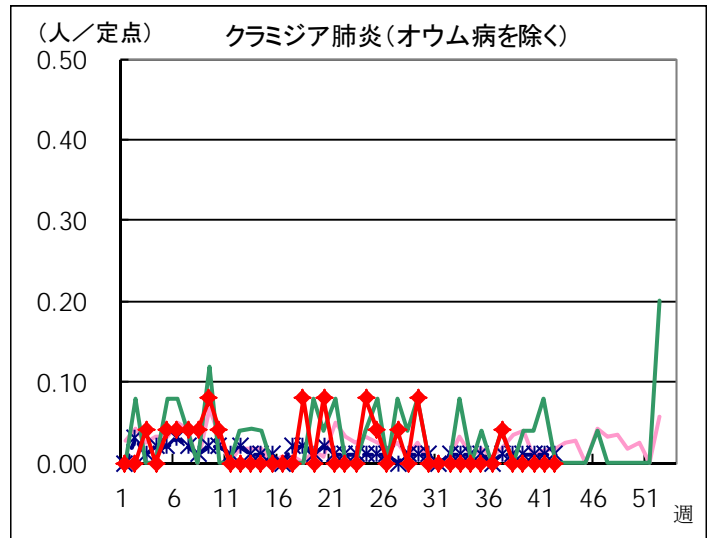
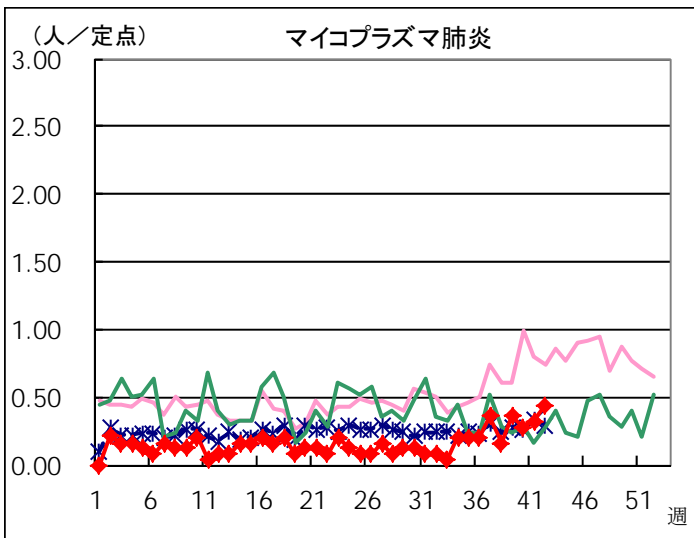
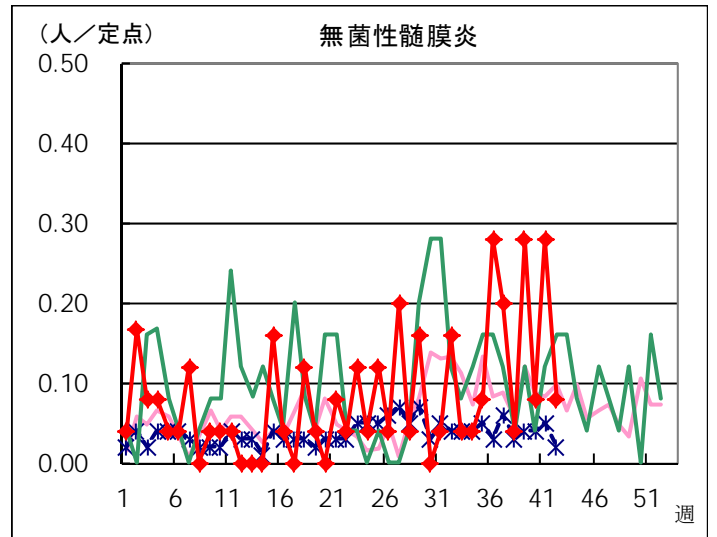
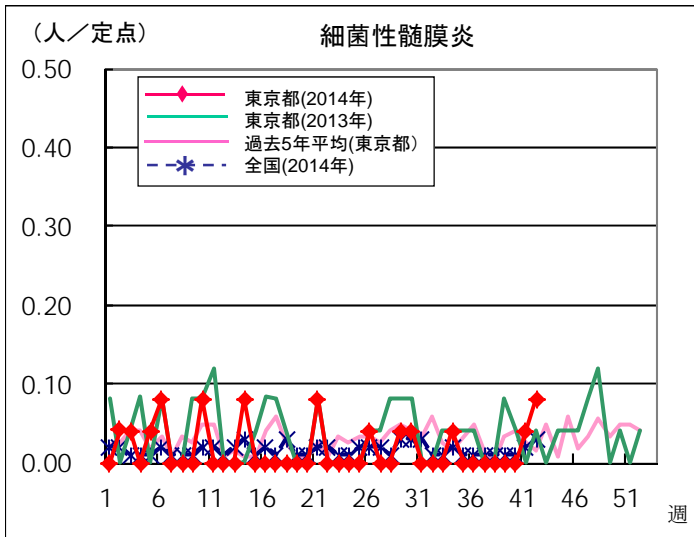
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
10/2	無菌性髄膜炎	1M	髄液	パレコウイルス 3型
10/1	無菌性髄膜炎	2M	髄液	コクサッキーウイルス B群5型
10/6	RSウイルス感染症	5M	鼻汁	RSウイルス
10/1	不明発しん症	10M	咽頭拭い液	エコーウイルス 18型 ヒトヘルペスウイルス 6型
10/7	RSウイルス感染症	1	鼻汁	RSウイルス
9/22	手足口病	1	咽頭拭い液	アデノウイルス エンテロウイルス 71型
10/7	手足口病	1	咽頭拭い液	RSウイルス
10/2	不明熱	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型
10/6	不明発しん症	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルス A群9型
10/6	流行性耳下腺炎	1	咽頭拭い液	ライノウイルス ムンプスウイルス
10/6	手足口病	2	咽頭拭い液	ライノウイルス
10/1	上気道炎	2	咽頭拭い液	RSウイルス
10/7	不明発しん症	2	咽頭拭い液	コクサッキーウイルス A群9型
10/9	アデノウイルス感染症	3	咽頭拭い液	アデノウイルス
10/3	髄膜炎	4	髄液	エコーウイルス 30型
10/4	咽頭結膜熱	4	咽頭拭い液	アデノウイルス
10/6	急性咽頭炎	4	咽頭拭い液	コクサッキーウイルス A群2型
10/7	手足口病	4	咽頭拭い液	コクサッキーウイルス A群16型
10/7	流行性耳下腺炎	4	咽頭拭い液	ライノウイルス
9/30	咽頭扁桃炎	5	咽頭拭い液	エコーウイルス 9型
10/1	髄膜炎	5	髄液	エコーウイルス 30型
10/4	不明熱	6	咽頭拭い液	エコーウイルス 9型
9/23	急性脳炎	7	咽頭拭い液	ライノウイルス
10/3	伝染性紅斑	7	咽頭拭い液	ヒトパルボウイルスB19
10/6	伝染性紅斑	7	咽頭拭い液	ヒトパルボウイルスB19
10/7	流行性耳下腺炎	7	咽頭拭い液	ライノウイルス ムンプスウイルス
9/30	咽頭扁桃炎	8	咽頭拭い液	エコーウイルス 9型
9/30	ヘルパンギーナ	8	咽頭拭い液	コクサッキーウイルス A群10型
9/29	流行性角結膜炎	42	結膜拭い液	アデノウイルス

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

41週はインフルエンザウイルスが検出されませんでした。

	AH1pdm09 ^{*1}	AH1亜型	AH3亜型	B型
41週				
2014-2015年 シーズン累計 ^{*2}			2	

*1 2011年4月1日から新型インフルエンザ(AH1N1pdm)が季節性インフルエンザに移行されたため、表記をAH1pdm09とする。

*2 2014-2015年シーズンの開始は第36週(2014年9月1日～)

病原体検出情報 【週別】

検出病原体	2014年							
	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週
アデノウイルス	2	25	5	7	12	2	11	4
ライノウイルス	1		4	2	3	4	4	5
ポリオウイルス								
コクサッキーウイルスA群	4	3	5	7	6	3	3	5
コクサッキーウイルスB群				3	1			1
エコーウイルス	4	1	2	4	1	2	4	6
エンテロウイルス71	1		3					1
その他のエンテロウイルス	8	2		4	4	3	5	
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス								
ヒトヘルペスウイルス6型・7型		5	5	9	1	1	2	2
EBウイルス	1	2	2			1		
サイトメガロウイルス			1		1			
ムンプスウイルス	1	2		1	2	1		2
麻疹ウイルス								
風疹ウイルス		2	1				1	
ヒトパルボウイルスB19		2	1				1	2
RSウイルス							3	4
ノロウイルス		1						
ロタウイルス								
インフルエンザウイルスAH1亜型								
インフルエンザウイルスAH3亜型		1	1	1				
インフルエンザウイルスB型								
インフルエンザウイルスAH1pdm09								
デングウイルス(抗体を含む)								
その他のウイルス	3	9	2	3			1	1
その他の病原体							1	

病原体検出情報【臨床診断名別】

2014年34週～2014年41週

	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他
搬入検体数	23	38	25	7	76	20	8	10	24	5	50	16				29
アデノウイルス	1	7	7	2	1	13	7	2	1	1	15	3				8
ライノウイルス		2	5		1	2		1	3		4	4				1
ポリオウイルス																
コクサッキーウイルスA群	5	5	1		2	2		7	9		5					
コクサッキーウイルスB群		1			4											
エコーウイルス		3			11	1			1		5	1				2
エンテロウイルス71									4							1
その他のエンテロウイルス		2	3		5	2		1	2	1	4	2				4
単純ヘルペスウイルス																
水痘・带状疱疹しんウイルス																
ヒトヘルペスウイルス6型・7型					2	1		1			16					5
EBウイルス						1						3				2
サイトメガロウイルス												1				1
ムンプスウイルス					1							8				
麻疹しんウイルス																
風しんウイルス											4					
ヒトパルボウイルスB19										4	2					
RSウイルス	1	1	4						1							
ノロウイルス				1												
ロタウイルス																
インフルエンザウイルスAH1亜型																
インフルエンザウイルスAH3亜型	3															
インフルエンザウイルスB型																
インフルエンザウイルスAH1pdm09																
デングウイルス(抗体を含む)																
その他のウイルス		5	6		5	1										2
その他の病原体				1												

<感染症豆知識>

コクシジオイデス症

コクシジオイデス症は輸入真菌症のひとつで、4類感染症として毎年数人が報告されている。ほとんどが米国での感染例でアリゾナやカリフォルニアが多い。現地では一般に Valley fever と呼ばれている。流行地の半乾燥地帯の土壌にいる真菌(*Coccidioides immitis*か*C. posadasii*)を吸入して感染する。強風や地震、土木工事、発掘など土壌が舞い上がるときに感染しやすい。感染しても60%の人は無症状で、40%の人では1~3週の潜伏期のあと発熱、咳、胸痛、倦怠感などで発症する(急性肺コクシジオイデス症)。結節性紅斑や多形滲出性紅斑がみられることもある。数週間で自然治癒することが多いが、感染した人の5~10%では胸部X線で結節や空洞がみられ、咳、血痰が続いたりする(慢性肺コクシジオイデス症)。感染した人の1%では真菌が髄膜、関節、皮膚をおかして重篤化する(播種性コクシジオイデス症)。患者からのヒトヒト感染はない。

日本では一般に真菌症は日和見感染症と考えられているが、コクシジオイデス症は健康な人でも発症する。日本への輸入症例は胸部異常陰影で発見されることが多い。カリフォルニア州ベイカーズフィールドの研修施設に1か月滞在したパイロット訓練生3名が慢性肺コクシジオイデス症であったという論文がある(一瀬淳二ほか: 肺コクシジオイデス症5例の臨床的検討. 日呼外会誌 2009;23:13-7)。

検査は病理診断で行われることが多いが、血清での抗体検査もある。感染力が強く検査技師への二次感染を生じる可能性があるため、真菌の培養は一般病院ではしない(国立感染症研究所等に依頼)。治療はフルコナゾールやアムホテリシンBなどが使われる。

(文責 東京女子医科大学国際環境・熱帯医学教室主任教授 遠藤弘良)